

# 腎臓内科 後期臨床研修プログラム

## 1. 研修の基本方針

腎疾患はCKDの概念の導入以来、国民病として認知され、進行阻止もしくは寛解が目標となった。また、腎疾患における合併症は感染症から外科的疾患まで多岐にわたる。当科では、腎疾患初期での発見と適切な対応ができ、合併症を含めた内科全般に対する幅広い視野を持った腎・透析専門医の育成を目指している。

## 2. 研修の内容

病棟では担当医として入院患者を受け持つ。入院症例カンファレンスが週に一度あり、プレゼンテーションと知識の整理を行う。また、初期研修医の指導や、他科からのAKI、電解質異常およびエンドトキシン吸着(PMx)や血漿交換(PE)など透析以外の血液浄化療法依頼に対し指導医とともに診断、治療を行う。

腎疾患外来を週に1単位担当する。地域からの紹介を含めた新規患者や入院患者の退院後継続治療を行う。検査、手技としては血液透析カテーテル留置、シャント穿刺、動脈直接穿刺、血液・腹膜透析回路の組み立て、腹膜機能検査、腎生検手技の修得をする。

透析室においては血液透析の導入、維持および管理を行う。また透析以外の血液浄化療法であるPMx、PEおよび炎症性腸疾患に対する白血球除去療法などの知識の習得と治療の実践を行う。さらに当院はCCUを有する心臓血管センターを備えており、心疾患を有する透析患者を他院より積極的に受け入れている。冠動脈疾患、弁膜症の周術期透析管理の習得をする。また、当院では腎移植を行っていないが、希望に応じて市立札幌病院など腎移植を行っている施設へ見学に行くなどの対応が可能である。

当科は日本腎臓学会、日本透析医学会の認定施設であり、後期研修医は学術大会への参加を積極的に行う。

## 3. 当科は下記の学会の研修制度に基づく認定施設です

- |          |      |
|----------|------|
| ・日本腎臓学会  | 研修施設 |
| ・日本透析医学会 | 認定施設 |

## 4. 研修責任医師

日本内科学会 認定医

工藤 立史